

# JIS

## 転がり軸受ー止め輪付きラジアル軸受ー 寸法，製品の幾何特性仕様（GPS） 及び公差値

JIS B 1509 : 2020

(JBIA)

令和 2 年 3 月 23 日 改正

日本産業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本産業標準調査会標準第一部会 機械要素技術専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	高 増 潔	東京大学
(委員)	相 羽 繁 生	株式会社東郷製作所
	猪 狩 俊 一	三菱マテリアル株式会社
	市 川 直 樹	国立研究開発法人産業技術総合研究所
	伊 藤 和 巳	KYB エンジニアリングアンドサービス株式会社
	大 西 賢 治	OKK 株式会社
	川 井 謙 一	横浜国立大学名誉教授
	渋谷 眞 人	東京工芸大学名誉教授
	菅 谷 功	株式会社ニコン
	平 井 亜紀子	国立研究開発法人産業技術総合研究所

---

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：昭和 41.1.1 改正：令和 2.3.23

官 報 掲 載 日：令和 2.3.23

原 案 作 成 者：一般社団法人日本ベアリング工業会

(〒105-0011 東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館 TEL 03-3433-0926)

審 議 部 会：日本産業標準調査会 標準第一部会 (部会長 酒井 信介)

審議専門委員会：機械要素技術専門委員会 (委員長 高増 潔)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 国際標準課 (〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1) にご連絡ください。

なお、日本産業規格は、産業標準化法の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本産業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

## 目 次

	ページ
序文	1
1 適用範囲	1
2 引用規格	1
3 用語及び定義	2
4 記号	2
5 輪溝及び面取りの寸法, 許容差, 許容値及び公差値	4
6 止め輪の寸法, 許容差及び許容値	7
附属書 A (参考) 設計例	12
附属書 B (参考) 輪溝の仕様に関する図示例	13
附属書 JA (参考) 転がり軸受用止め輪	14
参考文献	16
附属書 JB (参考) JIS と対応国際規格との対比表	17
解 説	20

## まえがき

この規格は、産業標準化法第 16 条において準用する同法第 12 条第 1 項の規定に基づき、一般社団法人日本ベアリング工業会（JBIA）から産業標準原案を添えて日本産業規格を改正すべきとの申出があり、日本産業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が改正した日本産業規格である。これによって、**JIS B 1509:2005** は改正され、この規格に置き換えられた。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願又は実用新案権に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本産業標準調査会は、このような特許権、出願公開後の特許出願及び実用新案権に関わる確認について、責任はもたない。

**注記** 工業標準化法に基づき行われた申出、日本工業標準調査会の審議等の手続は、不正競争防止法等の一部を改正する法律附則第 9 条により、産業標準化法第 12 条第 1 項の申出、日本産業標準調査会の審議等の手続を経たものとみなされる。

# 転がり軸受—止め輪付きラジアル軸受— 寸法，製品の幾何特性仕様（GPS）及び公差値

## Rolling bearings—Radial bearings with locating snap ring— Dimensions, geometrical product specifications (GPS) and tolerance values

### 序文

この規格は、2015年に第3版として発行されたISO 464を基とし、我が国の実態に即して、対応国際規格には規定されていない規定項目を追加するなど、技術的内容を変更して作成した日本産業規格である。

なお、この規格で側線又は点線の下線を施している箇所及び附属書JAは、対応国際規格にはない事項である。変更の一覧表にその説明を付けて、附属書JBに示す。

### 1 適用範囲

この規格は、JIS B 1512-1<sup>[1]</sup>に規定している寸法系列18及び19、直径系列0、2、3及び4のラジアル軸受（寸法系列00、82及び83を除く。）の輪溝の寸法、許容差、許容値及び公差値、外輪の輪溝側の面取り寸法及び許容差、並びに位置決め止め輪（以下、止め輪という。）の寸法、許容差及び許容値について規定する。

**注記1** この規格の対応国際規格及びその対応の程度を表す記号を、次に示す。

ISO 464:2015, Rolling bearings—Radial bearings with locating snap ring—Dimensions, geometrical product specifications (GPS) and tolerance values (MOD)

なお、対応の程度を表す記号“MOD”は、ISO/IEC Guide 21-1に基づき、“修正している”ことを示す。

**注記2** ハウジング部品の設計例を附属書Aに、輪溝の仕様に関する図示例を附属書Bに、JIS独自の転がり軸受用止め輪を附属書JAに参考として示す。

### 2 引用規格

次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。これらの引用規格のうちで、西暦年を付記してあるものは、記載の年の版を適用し、その後の改正版（追補を含む。）は適用しない。西暦年の付記がない引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。

**JIS B 0104** 転がり軸受用語

**注記** 対応国際規格：ISO 5593, Rolling bearings—Vocabulary

**JIS B 0124** 転がり軸受—量記号

**注記** 対応国際規格：ISO 15241, Rolling bearings—Symbols for physical quantities

**JIS B 0420-1** 製品の幾何特性仕様（GPS）—寸法の公差表示方式—第1部：長さに関わるサイズ

**注記** 対応国際規格：ISO 14405-1, Geometrical product specifications (GPS) —Dimensional tolerancing